Engineer ソフトウェア

全FFI呼び出しを検証する構文解析器を作成

手書きの仮Cヘッダーで、削除済みの3関数を呼んでもコンパイル・リンクが通り実行時に落ちた問題を受け、実際の7,308行のCヘッダーを読み、全呼び出し箇所、列挙定数、ポインター所有クラスのfinal指定を検証する構文解析器を作成した。

9月 2026

7,308

推測せず読み取ったCヘッダーの行数

状況. 初期にはアプリが期待する関数を手書きのCヘッダーで表していた。コンパイルとリンクは成功したが、コアから消えた3関数を実際に呼ぶと落ちた。コンパイラーもリンカーも実ライブラリでなく説明に満足し、差は実行時だけに現れた。

課題. 7,308行・268宣言の実ヘッダーを正本とし、Swift内の全利用をレビューでなく自動照合する必要があった。

行動. 実際の上流ヘッダーを解析し、関数、列挙定数、型を集め、Swiftの全呼び出しと定数参照を照合した。未宣言関数や改名済み定数でビルドを失敗させる。268宣言中132を使用し、136が未使用と把握できること自体も、未到達のコア範囲を正確に示す。さらに、コアポインターを所有する全Swiftクラスをfinalにする、コンパイラーが強制しない規則を設けた。継承先が破棄処理や寿命を変えると、近くにunsafe語がなくてもuse-after-freeになるため、ツリー全体を名前で検査した。

結果. 古い参照は実行時でなくビルド時に失敗するため、元のクラッシュの種類を防げる。限界は宣言を理解しても意味は理解しないことであり、同名・同シグネチャのまま上流が意味や所有規則を変えても、無指摘で通る。

この経験をお客様のプロジェクトに

「全FFI呼び出しを検証する構文解析器を作成」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 データの保存先、処理のルール、他のシステムとの接続方法など、利用者の目に見えない部分をつくります。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 全FFI呼び出しを検証する構文解析器を作成 — 7,308 推測せず読み取ったCヘッダーの行数

サービスを見る お問い合わせ →

削除された関数の呼び出しをビルドで検出できますか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：macOSアプリケーションエンジニア。 関連する分野： バックエンド開発, API・システム連携, 自動化・CI/CD, セキュリティ, テスト・品質保証 および 文書作成. こちらのサービスも得意としています バックエンド・API開発, DevOps・CI/CD自動化 および 技術文書の作成.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

削除された関数の呼び出しをビルドで検出できますか？

「全FFI呼び出しを検証する構文解析器を作成」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://software.engineer.company/ja/portfolio/wrote-a-parser-verifying-every-ffi-call/